

金沢湯涌創作の森 AIRプロジェクトVol.6

レジデント作家2人展 PLUS

2022 SAT 2/5 ~ SUN 13 入場無料



会場/金沢市民芸術村 PIT 5 アート工房 (金沢市大和町1-1)
10:00~18:00 会期中無休

金沢湯涌創作の森では、「創造拠点としての金沢」を活性化するため、2016年度より現在活躍中の作家又は将来活躍が期待される若手作家を招聘して滞在活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス」プログラムをスタートしています。6年目となる今年度は、一般公募により招聘作家を選考した結果、現代の日常に視点をあて、水性木版画の特質を生かしたやわらかい色調で表現する森田さやか氏と、記憶を通じた面影を対象として捉え、シルクスクリーンをベースに作品を生み出す中桐聡美氏の2名の作家を招聘し、金沢湯涌創作の森版画工房を拠点に公開制作や展覧会を開催いたします。金沢市民芸術村での展覧会では、日頃から当工房で創作活動を行う地元作家などの皆さんの作品も展示しており、版画表現の幅広さ、楽しさに触れてみてください。



森田さやか

もりた さやか

- 2015 多摩美術大学美術学部絵画学科版画専攻 卒業 [展示]
- 2012 プリメーロ世田谷 commune
- 2013 CORPORATE COLLABORATION ART TOKYO 2013 代官山 パセリパーティー 下北沢ダイヤモンドヒーロー
- 2015 第38回東京五美術大学連合卒業・修了制作展 国立新美術館 多摩美術大学美術学部絵画学科版画専攻卒業制作展 文房堂ギャラリー
- 2018 第10回恵比寿映像祭 地域連携プログラム MuCuL
- 2020 空間の派生1個展 ロクの家(千葉県銚子市)
- 2021 第3回まちの気楽なアートギャラリーとオークション@鎌倉 ジャックと豆の木 [受賞歴]
- 2013 第19回 川上澄生美術館木版画大賞 入選 アワガミ国際ミニプリント展 入選
- 2015 第21回 川上澄生美術館木版画大賞 入選
- 2016 第34回 三菱商事アート・ゲート・プログラム 入選
- 2017 第13回 浜松市美術館版画大賞 入選 第6回 FEI PRINT AWARD 入選 紙わざ大賞入賞27 準入選
- 2019 第24回 川上澄生美術館木版画大賞 入選
- 2020 第2回TKO国際ミニプリント展2020 入選



中桐聡美

なかぎり さとみ

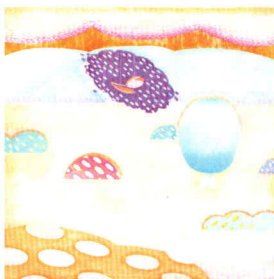
- 2018 金沢美術工芸大学油画専攻卒業
- 2020 京都市立芸術大学院美術研究科絵画専攻修了 [グループ展]
- 2015 間×美2015(金沢)
- 2016 ギャラリーへ行く2016 数寄和アートギャラリー(滋賀、東京) 内川鎮守の森ギャラリー2016(金沢) oterartオテラート金澤2017(金沢)
- 2018 PORTO STAMPA 2018 アートゾーン神楽岡(京都)B-gallery(東京)
- 2019 PORTO STAMPA 2019 アートゾーン神楽岡(京都)B-gallery(東京) PRINT FOR SALE hotoba cafe (京都)
- 2020 京都市立芸術大学作品展2020 (京都) [個展]
- 2021 tide me over atelier Z(岡山) [受賞歴]
- 2020 京都市立芸術大学作品展2020同窓会賞 [コレクション]
- 2017 ART-REBORN-PROJECT 金沢美術工芸大学開学70周年記念 北國新聞社共同事業 羽咋モデルハウス(羽咋)

私は身体感覚によって感じ取れる空間や、空間のできることで現れる境を主な題材として制作してきました。

私が題材とする感覚や空間というものは日常のものです。

このような題材にはそれぞれ「人として生きること」や「社会」を内包させています。

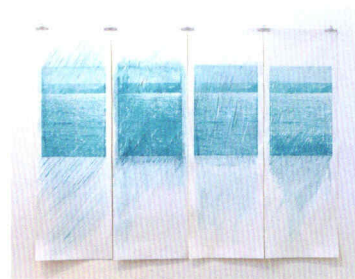
記憶や感情といった、明確な形がないものの「移ろい」をテーマに制作を行っています。人が抱く感情や記憶といったものは刹那的でゆらぎのあるものです。以前抱いていた感情を再び正確に思い出すことは難しく、形を変えてもなお残っていくものもあれば、跡形もなく消えていくものもあります。同じものを同じように見ているようでも、そこから感じる印象や感覚は日々異なるもので、常に変化していると考えています。



16年前の芽吹き。
915×910mm / 2015 / 水性木版



穏やかな天婦羅の郷。
915×910mm / 2015 / 水性木版



時雨 #01~04
各 600×1800mm / 2021 / シルクスクリーン

シルクスクリーンで刷った写真イメージに、カッターナイフで紙が切れないぎりぎりの深さでドローイングを重ね、その傷に水性インクを滲ませていく手法で制作を行っています。私が行うドローイングは、元の写真イメージを全て消し去るというわけではなく、面影を残しながらも別のものに变化してしまう「移ろい」です。

関連企画

ギャラリートーク

2022.2.5(土) 13:30~14:30

出演: 金沢湯涌創作の森 AIR 2021 招聘作家
森田さやか・中桐聡美

金沢湯涌創作の森版画工房スタッフ
岩瀬 貴憲

参加費: 無料

ワークショップ 特別講座

2022.2.12(土) 13:00~16:00

水性木版画制作体験 / 森田さやか

3月3日ひな祭りに向けて、ひな人形と共に飾られる「ぼんぼり」をモチーフに水性木版画を制作します。参加者の方は摺りの体験をして頂きます。水性絵具を使用して色を摺ること、絵の具を使わず版木の凹凸を生かした空摺をします。はがきサイズの小さな木版画を作り、ひな祭りの準備をしましょう。

対象者: 小学生以上 参加費: 各 2,800 円(学生 2,400 円) 募集人数: 各 8 名様まで
申し込み・お問合せ: 金沢湯涌創作の森

※透明水彩絵の具を使用しますが、念のため汚れても良い服でご参加することをおすすめします。
※小学生以下のお子様は、保護者の方のサポートをお願い致します。

写真製版シルクスクリーン体験 / 中桐聡美

写真製版されたトッピングを使って、オリジナルのパフェをつくります。ドットやライン、ディザなど、写真をシルクスクリーンの版に変換するには、いくつかの方法があります。それぞれの表現の違いを楽しみながら、紙や布に自分だけのパフェを刷りましょう。